



6世紀の日本

中央豪族の勢力争い

蘇我氏 VS 物部氏

仏教賛成

仏教反対



蘇我氏が勝って、その力は天皇家をしのぐほど大きくなった。

◎ 冠位十二階の制度

位を12に分け、冠の色で表す。氏や姓にとらわれず、才能のある人を取り立てようとした。

◎ 十七条の憲法

天皇中心の政治を示し、役人の心得を説いた

十七条の憲法（一部）

- 一に曰く 和を以て貴しとなし、さからふる（争う）事なきを宗とせよ。
- 二に曰く 篤く三宝を敬へ。三宝とは仏・法・僧なり
- 三に曰く 詔をうけたまはりては 必ずつつしめ
※ 詔 = 天皇の命令
- ...
- 一七に曰く それ事はひとり断むべからず。必ず衆と宜しく論ふべし。

大化改新

▲中大兄皇子（天智天皇）と▲中臣鎌足（藤原鎌足）が、当時勢力をふるっていた大豪族・蘇我氏を亡ぼし、天皇中心の政治制度を整え始めた。これを大化改新という。

● 公地公民

皇族や豪族が私有していた土地や人民を、すべて国家の所有（国有）とする制度。

● 年号（元号）のはじまり

改新の年、はじめて「大化」という年号が立てられた。（唐の制度にならったもの）

※ 大化改新の背景：
中国大陸に強大な中央集権国家・唐が出現したため、日本では危機感を持ち、唐にならって天皇中心の中央集権国家を作ろうという動きが出てきた。しかし当時は蘇我氏が天皇をしのぐほどの勢力を持っていたため、まず蘇我氏を亡ぼす必要があった。

飛鳥文化

日本最初の仏教文化 6世紀末～7世紀



- 法隆寺 … 世界最古の木造建築
- 玉虫厨子 （法隆寺）
- 釈迦三尊像 （法隆寺）
- 弥勒菩薩像 （広隆寺・中宮寺）

※飛鳥文化は、渡来人の子孫が大きな役割を担い中国やギリシャ（ヘレニズム）の影響がみられる。